

平成26年度第2回流山市入札監視委員会 会議録

1 日 時

平成27年3月18日（水）午後2時

2 場 所

流山市役所3階 304会議室

3 出席委員

倉 橋 透 委員長 中 神 啓四郎 委 員

村 岡 豪 委 員

4 欠席委員

な し

5 出席事務局

総務部 水代部長

財産活用課 古川課長、深津課長補佐

高野主任主事、古林主事

経營業務課 吉原課長補佐 加藤主事

6 工事担当課

下水道建設課 平野係長、近藤主任技師

防災危機管理課 大津課長補佐 近藤主事

高齢者生きがい推進課 石川係長

財産活用課ファシリティマネジメント推進室 寺沢室長

7 審議事項

- (1) 委員長の互選について
- (2) 抽出事案の審議について
- (3) 入札及び契約手続の運用状況等の報告
- (4) 次回審議事案の抽出について
- (5) その他

8 協議状況

開 会 午後2時

閉 会 午後4時10分

総務部長の挨拶及び財産活用課長からの入札監視委員会の審議対象の説明後、委員会次第に沿って会議が開催された。

協議事項

(1) 委員長の互選について

委員改選後初めての委員会であることから、委員長の互選を行い、倉橋委員が委員長に推薦され、異議なく了承された。

(2) 抽出事案の審議について

ア 手賀沼2号汚水幹線工事 (T6-301)

[担当課工事概要説明]

[事務局説明]

倉橋委員

工期が200日と設定しているが、どのように工期設定を行っているのか。

平野係長

工事の内容（今回の場合は推進工事の延長距離）や工事が開始されるまでの準備期間、片付けの期間などを積算し工期を算出している。

中神委員

公告文にあるAランクは何社あるのか。

古川課長

Aランクは22社あるが、今回の工事対象は『特定建設業』としているため、対象となる特定Aランクは16社ある。なお、入札に参加した業者は7者であった。

中神委員

総合評価結果（審査結果）の内容によるとSMCテックの「災害協定等」が0点となっているが、災害協定の締結がされていないということによいか。

古川課長

同社については、災害協定の締結がされていない。なお災害協定が有りの場合は、1点、災害対応への出動した場合は3点が加点される。

倉橋委員

総合評価における社会保険については、加入が前提となっているのか。

古川課長

国が発注する公共工事では社会保険が未加入である業者は入札に参加することはできず、経営審査事項の確認の際に未加入の場合は排除される。

本市においては、3,000万円以上の工事において労働環境申告書において社会保険の確認を実施しているところである。

村岡委員

総合評価結果（審査結果）にある工事回数の実績については、市の工事が対象になるのか。

古川課長

官公庁等（国、地方公共団体、独立行政法人等）で施工した実績も対象となる。

倉橋委員

総合評価を行っている効果は、工事内容の質の向上などが考えられるが、金額だけの競争入札と総合評価を実施している場合と比較して異なる点（効果）はどうか。

また、女性従業員の雇用については、現在の雇用している場合の加点だけではなく、将来的に女性が管理職となった場合の加点などについても検討されてはどうか。

古川課長

工事の点数については、ここ数年で徐々に上がっている状況である。

女性従業員については、他市では、女性を技術者に配置した場合について加点するケースもある。現在、本市でも総合評価の点数の差が付きにくい状況であることから、内容についても今後検討していきたい。

倉橋委員

工事成績の平均点は公表しているのか。

古川課長

工事成績の公表はしていない。

中神委員

今回の工事では、当初の工期が平成27年2月22日までとなっていたが、その後、工期を3月25日までに工期を延期した理由は何か。

近藤主任技師

本工事は、推進工事で行っているが、施工中に水道管（1か所）があったため、急きょ切り廻しを実施することとなり、工期延期となった。

中神委員

その後の進捗はどうか。

近藤主任技師

大きな問題もなく順調に施工している。

イ 災害用井戸ろ過・ポンプ施設整備工事

[担当課工事概要説明]

[事務局説明]

中神委員

本工事は、低入札価格調査の対象となっているが、調査内容にある「設計額に対する積算額の比率」について各割合（％）はどのように算出しているのか。

大津課長補佐

市で設計した各項目の金額と落札業者が積算した設計（積算内訳書）を比較し各項目の比率を算定している。

倉橋委員

市の設計に関しては、設計単価表に基づいて算定していると思うが、落札業者が入札した金額の直接工事費が低いと思うどうか。

深津課長補佐

下請けに出せば高くなると思うが、落札業者は、井戸工事を専門としているため、下請けは使用せず、直接施工で実施することができる。

また、工事に必要な機材なども自前で所有しているため機材などをリースする費用もかからないため、経費を節減していると考えられる。

村岡委員

工事の低減割合の中で電気工事が42.85%となっており、「低い設定」として
いるが、この数値については、妥当であるのか。

深津課長補佐

数値については、あまり低すぎると、市の設計（積算）した資材等よりも程度の悪い資材を仕入れているのではないかという懸念はあるが、低入札価格調査の聞き取りの中で確認を行なっている。

倉橋委員

調達する資材の質（例えば電気工事における電線等の質など）についても、聞き取りの段階で確認をしているのか。

深津課長補佐

落札業者から提出された設計書に記載されている品番や内容を確認したうえで、設計書どおりの質で工事ができるかどうかの確認を行っている。

中神委員

手持ち機械などについても確認を行っているのか。

深津課長補佐

業者が所有している機材については、書類に機材名や台数を記載させ、聞き取り段階で確認を行っている。

なお、その際に、経営状況等についても確認を行っている。

倉橋委員

この井戸については、災害時にはだれが動かすのか。

大津課長補佐

当該ポンプ施設は、主に避難所（学校）に設置しているため、学校の管理者（先生）や避難された方々になる。

中神委員

本工事については、平成26年1月から3月という時期であったが、工期内で完成したのか。

大津課長補佐

低入札価格調査の実施などあり、契約に多少の時間を要したが、工期には影響はなく、予定どおり年度内に完成した。

ウ 老人福祉センター新築工事（外構工事その1）

〔担当課工事概要説明〕

〔事務局説明〕

中神委員

本体工事（老人福祉センター新築工事）の総額はどの程度か。

古川課長

建築工事、電気設備工事、機械設備工事など含めて約2億程度である。

中神委員

この施設は、いつからオープンしたのか。

寺沢室長

平成26年7月1日にオープンした。

倉橋委員

流山市内に「老人福祉センター」という施設はほかにあるのか。

寺沢委員

「老人福祉センター」という施設は、この1か所である。

倉橋委員

市の北部地区にあるが、利用者にとって不便な点はないか。

寺沢室長

ほとんどの利用者は、車などを利用していると考えられる。

倉橋委員

当該施設行きのバスなどはないのか。

水代総務部長

一定の人数（団体）が集まれば、市のバスでの送迎も利用可能である。

中神委員

当該施設の収容能力（人数）はどの程度か。

石川係長

それぞれの施設（部屋）があるため、この場で収容人数を示すことができないが、平成25年度の平均1日利用者は145名であった。

倉橋委員

随意契約を行う際に、事前評価などは行っているのか。

古川課長

事前評価は、実施していないが、金額の高い工事などでは、比較設計（通常設計した場合と随意契約した場合の設計額の比較）を行い、節減額（減額）を算出している。

倉橋委員

当該施設は、指定管理者が運営していると思われるが、どのような業者か。

石川係長

シルバー人材センターである。

倉橋委員

当該施設の解体と建設含めてP F Iを検討しなかったか。

寺沢室長

今回の中では、検討はしていない。ただし、施設の規模などによるが、将来的に民間にとっても魅力的な案件がある場合は、P F Iに限らず、民間の力を借りることも検討していきたい。

(3) 入札及び契約手続の運用状況等の報告

〔事務局説明(市長部局)〕

中神委員

入札結果閲覧簿に記載されている予定価格などは業者が入札する段階で公表されているのか。

深津課長補佐

工事の場合、予定価格については、公告文で公表している。ただし、予定価格の公表の有無については、市(町村)によって異なることがある。

中神委員

予定価格等を公表しているのにも関わらず、工事の入札に参加しない案件が数件あったがなぜか。

深津課長補佐

土木工事、舗装工事などは、市の業者への発注のため、市内業者は常に市ホームページ等で入札情報を確認し、入札に参加しているが、井戸の工事など市内の業者で施工できない工事については、他市の業者が流山市の入札情報(新聞や流山市のホームページを閲覧)を確認していなどのことから、入札参加者が0となるケース

がある。

市としては、入札の際に建設新聞等の業界紙に情報提供を行っている。

倉橋委員

電気工事の落札率が低いと説明があったが、市内の電気工事業者の数はどの程度であるか。

深津課長補佐

市内の電気工事業者も多くはないが、電気工事の発注件数がなく、業者側も落札したいため、落札率が低くなっていると考えられる。

[事務局説明(水道局)]

倉橋委員

下水道工事の総合評価方式での入札は、上下水道局でも実施するのか。

吉原課長補佐

下水道工事については、既に、市長部局で総合評価（特別簡易）の入札を実施しているため、上下水道局になっても、同様に総合評価を実施していく。なお、現在、水道局発注工事（水道工事[管工事]）においても数件は、総合評価で実施している。

倉橋委員

来年度から上下水道局となるが、下水道の会計は、水道の会計と一緒にするということか。

吉原課長補佐

上下水道局となり事務所も同一場所で、事務的な部分も統合されるが、上水道と下水道の会計はそれぞれ別々となる。

倉橋委員

下水道事業の下水道事業受益者負担金や都市計画税（下水道分）の収入部分につ

いては、下水道会計の歳入となるのか。

吉原課長補佐

都市計画税については、市の歳入となり、負担金として上下水道局（下水道会計）へ歳入される。なお、下水道事業受益者負担金については、直接、受益者からの徴収しているため、下水道会計の歳入となる。

倉橋委員

他市で下水道の独立（公営企業）に移行した団体はあるか。

吉原課長補佐

八千代市や、佐倉市である。

（４）次回審議事案の抽出について

倉橋委員長

今回の委員会の審議案件として、一般競争入札について、市長部局は「向小金雨水幹線工事（その２）」、指名競争入札については、「小中学校消防設備改修工事（その２）」また、随意契約案件については、「流山市防災行政無線固定系屋外子局増設工事（その２）」としたいがどうか。

[全 員 了 承]

次に水道局の審議案件として、一般競争入札については、「運動公園周辺地区配水管拡張工事（H26-3工区）」としたいがどうか。

[全 員 了 承]

（５）その他

入札制度の改正について

- ・公共工事の全ての入札において工事費内訳書（積算内訳書）の提出の義務化

- ・全ての公共工事において施工体制台帳の提出の義務化
- ・「流山市公共工事の中間前金払取扱要領」の制定
- ・労働環境確認に関する要綱の制定について（本格実施）

〔事務局説明〕

倉橋委員

労働環境確認については、上下水道局で実施する予定はあるか。

深津課長補佐

現在、水道局では実施していないが、平成27年4月からの上下水道局では、労働環境確認を実施するため、要綱の制定を準備している。

倉橋委員

建設工事では、技術（技能）研修等の目的で外国人の研修生が一時的に労働する場合がありますと思うが、どのように確認を行うのか。

深津課長補佐

労働環境申告書の従業員数の「その他」欄に記載されるため、そこで確認を行う予定である。

倉橋委員

中間前金払いについてであるが、業者が中間前払金を受領した後に、倒産した場合は、その支出した分についてはどうなるのか。

深津課長補佐

前金払及び中間前金払については、予め業者は、保証会社等の保証に入ることが前提となっているため、万が一倒産した場合は、市は保証会社へ請求を行う。

- ・次回の入札監視委員会の日程について

倉橋委員長

次回の入札監視委員会は平成27年10月1日（木）の午後2時からとしたいがどうか。

[全 員 了 承]

特に質問が無ければ、以上で委員会を終了する。